



浜水高

# 図書館だより

## 浜田の歴史街道

江戸時代の浜田には、現在の山陰道・国道 9 号線に沿った”近世山陰道”と浜田自動車道に沿った”広島浜田街道”という街道が通っていました。

○近世山陰道・・・出雲と石見を結ぶ重要な街道

○広島浜田街道・・・浜田と広島を結ぶ重要な道

（それとともに、浜田松平家の参勤交代の道でもありました。）

ところで山陰地方各家中の参勤交代の道は現在の中国横断道に沿っていたことは興味深いです。

・浜田松平家・・・浜田自動車道（千代田からは可部峠を越えて広島へ）

・松江松平家・・・米子自動車道（米子までは山陰道経由、落合から津山を経て姫路へ）

・鳥取池田家・・・鳥取自動車道（佐用から国道 179 に沿って姫路へ）

その他浜田を通る街道として次のような道がありました。

○石見中通り往還・・・大田から津和野までの石見地域を内陸よりに結ぶ道

○津和野奥筋矢上往還・邑南から津和野まで石見地域の山沿いを結ぶ道（江戸時代の津和野領には飛び地が存在していて、それらを結ぶ道でした。ちなみに浜田市域でも佐野町と旭町の全部、金城町の大部分、弥栄町と三隅町の一部は津和野領でした。）

○浜田三次往還・・・浜田から有福温泉を経由して三次に至る道

○浜田波佐道・・・浜田から浜田ダム東の柿木山を越えて金城町波佐に至る道

（道の遺構がありましたが、第二浜田ダムに沈んでしまいました）

○鉄の道・・・広島県安芸太田町を本拠地としていた加計隅屋（佐々木家）が砂鉄を採取していた三隅町の井野地区と安芸太田町加計を結ぶ道

～広島浜田街道を歩く～  
今市の広島街道案内板→

浜田から広島までの参勤交代は3日間の行程で、市木（邑南町）と本地（北広島町）に宿泊したので、今市は休憩のための本陣でした。



←都川の広島街道の案内板。浜田松平家参勤交代の道の難所の一つ赤谷越の近くにあります。赤谷越は浜田自動車道の旭町内の4つのトンネルを橋で結んだ部分にあり、浜田自動車道の難工事の場所でもありました。駕籠をを綱で引いて上げ下ろししたといわれている難所でした。あとの難所は石見と安芸の国境の三坂越と広島市安佐北区と北広島町の間にある可部峠（かべたお）でした。

広島浜田街道の案内→

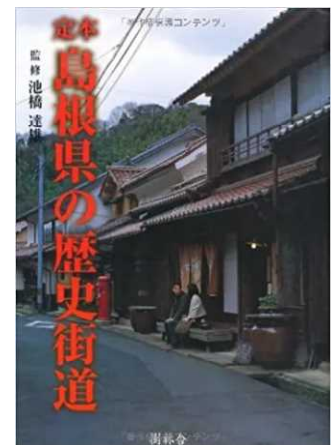
旭町和田本郷から山を越えて都川に出たところにあります。



←市木（邑南町）の浄泉寺  
市木は本地とともに参勤交代の宿泊のための本陣がおかれていました。寺の上に浜田自動車道が通っています。



『島根県の歴史街道』は図書館に置いてあります。かつて浜田水産高校に勤務していらっしゃった先生がこの本の執筆に加わっています。



## ニュースを読む

### プーチン氏「ロシアの日」に愛国心を刺激し国民に結束訴える…南部の制圧地域でロシア旅券交付（2022. 6.13 読売新聞）

ロシアのプーチン大統領は12日、自国の祝日「ロシアの日」にちなんで開いた式典で演説し、「今日、祖国や社会のために、国民の結束がいかに重要かということを感じている」と述べ、露軍がウクライナ侵攻を継続する中、愛国心の鼓舞を図った。英国防省は12日、露軍が制圧を目指す東部ルハンスク州の要衝セベロドネツクと周辺を「徐々に掌握している」との分析を明らかにした。

露大統領府によると、クレムリン（露大統領府）で演説したプーチン氏は「祖国への献身や責任感先人から受け継がれたものだ」とも語った。愛国心を「神聖」なものとして位置付け「全員に備わっている」と強調した。

「ロシアの日」は、ソ連時代末期の1990年、一構成国だったロシアの主権宣言を記念した日だ。

プーチン氏は「先人たちの偉業や軍功は我々にとって誇りだ」と強調した。とりわけ、1721年にスウェーデンとの北方戦争に勝利して領土を拡大し、大国の礎を築いた帝政ロシアのピョートル1世（大帝）に「特に敬意を表する」と述べ、帝政ロシア初代皇帝の威光を借り、ウクライナ侵攻の正当化を改めて図った。

一方、タス通信などによると、ウクライナ南部ヘルソン州とザポリージャ州の露軍制圧地域では11日から住民へのロシア旅券の交付が始まった。「ロシアの日」を意識した動きとみられる。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は11日深夜のビデオ演説で、旅券交付に関し、希望したのはロシアへの協力者だけだったと指摘し「ロシアへの逃亡切符だ」と皮肉った。

ルハンスク州知事は12日、SNSを通じ、露軍がセベロドネツクを孤立させるため、ドネツ川を挟んで隣接する都市リシチャンスクとを結ぶ3本の橋のうち2本目を破壊したことを明らかにした。3本目も激しい砲撃を受けているという。

露軍はウクライナ軍が拠点にする工業地帯を集中的に攻撃しており、多くの住民が地下シェルターに避難するアゾト化学工場では11日、火災が発生した。

### 訪日客再び 受け入れ準備進む観光地 マスクの着用は理解得られる？

（2022.6.10 朝日新聞）

訪日外国人客（インバウンド）の受け入れ手続きが10日、約2年ぶりに再開された。当面は政府が新型コロナウイルスの感染リスクが低いと判断した国・地域からの添乗員付きツアー客に限られる。実際に来日が始まる6月下旬以降に向けて、受け入れ準備を進

める観光地の期待は高まるが、日本の感染対策に理解を得られるか心配する声もある。

東京・浅草の仲見世通りは10日の日中、和服姿の女性や修学旅行の中学生らでにぎわっていた。仲見世商店街振興組合では全88店に、マスク着用や手洗いなどを呼びかける英文のポスターを配布。受け入れに向けて準備を進める。金子弘之理事長は「これがコロナ禍の『終わりの始まり』であってほしい」と期待した。

江戸時代から仲見世に店を構える「江戸趣味小玩具 助六」の木村可奈江さん(51)は「コロナ禍で売り上げがゼロだった日もあった」とこの間を振り返る。インバウンドの増加に期待を寄せつつ、感染対策への心配も。親指サイズの人形などを販売するが、手に取って品定めする人も少なくないという。政府は、混み合った施設などでのマスク着用をうたう旅行会社向けの指針をつくっている。「マスクをしてください、触らないでくださいと、一人ひとり声をかけたい」

伊勢志摩観光の中心地、伊勢神宮(三重県伊勢市)周辺でも、参拝者増への期待が高まる。

市によると、今年5月までの参拝者数は前年同期比約1.7倍の267万6452人。回復基調にあるが、外国人とされる参拝者数はわずか0.16%の4230人ととどまる。

### **三浦龍司 日本選手権 3000メートル障害で連覇 世界選手権への出場内定**

(2022. 6. 11 山陰中央新報)

陸上の日本選手権第3日は11日、大阪市のヤンマースタジアム長居であり、男子3000メートル障害で浜田市出身の三浦龍司＝順大、浜田東中－洛南高＝が8分14秒47の記録で2連覇し、世界選手権への出場が内定した。